

# ホテル高州園を取得

## 東京のホテル会社が承継

### 改修も検討



HMIに事業が引き継がれるホテル高州園  
—輪島市塚田町

全国で宿泊施設を運営するインターナショナル(HMI、東京)は、輪島市塚田町の

「ホテル高州園」を取得する。後継者問題に直面した経営会社の輪島観光開発(輪島市)を、3月29日付で土地・建物とともに譲り受ける。取得額は非公表。施設改修を検討しており、ソフト、ハード両面でのこ入れで客層を訪日外国人旅行者(インバウンド)などに広げる青写真を描く。約100人の従業員(パート含む)や施設名、出入り業者は引き継がれる。HMIは26都道府県に53ホテルとフィットネス6施設を所有、運営する。ホテル高州園の取得に当たっては、能登空港から近い立地

や北陸新幹線開業後の宿泊需要の高まりに着目した。石川県内では加賀市で「ホテル北陸古賀乃井」「ホテル大のや」、宝達志水町

で「ホテルウェルネス能登路」を展開しており、HMIの広報担当者は「県内3ホテルと連携して誘客に努め、能登観光の一つの拠点としたい」と語った。ホテル高州園は1968(昭和43)年完成で、数回にわたり増築されている。地上9階、地下1階、敷地面積4093平方メートル、132室に最大650人が宿泊できる。客室や露天風呂から日本海を一望できる。

テレビCMなどで知名度がある高州園が、輪島の観光誘客を長く牽引してきたとし、「多角経営で経験豊富なHMIは大きなネットワークを持っており、観光振興を期待できる。素晴らしい継承者が見つかったよかったです」と話した。

## 後継者不在で決断

社長 前田 後継者不在で決断

ホテル名は変更せず



輪島観光開発の前田義則社長(76)は富山新聞の取材に対し、「後継者不在で親族にも適任者がおらず悩んでいた。第三者にお願いしなければ解決しないと思った。経営に行き詰まった訳ではなく、何の心配もない」と胸の内を明かした。前田社長は引き続き経営に参画するという。輪島市の梶文秋市長は、



# 高州園の事業承継

## 来月 都内ホテルグループ

石川県輪島市の老舗宿泊施設「ホテル高州園」が三月二十九日付で、ホテルマネジメントインターナシ

3月にHMIホテルグループの経営となるホテル高州園は石川県輪島市で

ヨナル(HMIホテルグループ、東京)の経営となる。ホテル名の変更はなく、従業員の雇用や取引先も継続される。

ホテル高州園は一九六八年創業。年間百万人以上が訪れる輪島市を代表する宿

泊施設として営業を続けてきた。近年、前田義則社長が自身の高齢化を理由に後継者を探していたが、適任者が見つからず事業承継先を探していた。前田社長は三月二十九日以降も肩書を変えて、ホテル運営に携わ

る予定。

前田社長は七日、本紙の取材に「高州園のブランドを損なわず、今まで以上に地域や観光客に愛されるホテルにしていこうと話した。HMIホテルグループは全国二十六都道府県に五十丸のホテルや旅館を運営している。石川県内ではホテルウェルネス能登路(宝達志水町)、ホテル大のや、ホテル北陸古賀乃井(加賀市)の三施設を展開。ホテル高州園が四施設目となる。(関俊彦)

★ホテル高州園経営権委譲  
石川県輪島市の老舗宿泊施設「ホテル高州園」が三月二十九日付で、ホテルマ

ネージメントインターナショナル(HMI)ホテルグループ(東京)の経営となる。ホテル名の変更はなく、従業員の雇用や取引先も継続される。  
ホテル高州園は一九六八年創業。年間百万人以上が訪れる輪島市を代表する宿泊施設として営業を続けてきた。近年、前田義則社長が自身の高齢化を理由に後継者を探していたが、適任者が見つからず事業承継先を探していた。前田社長は三月二十九日以降も肩書を変えて、ホテル運営に携わる予定。  
HMIホテルグループは全国二十六都道府県に五十九のホテルや旅館を営んでいる。

### 「ホテル高州園」の事業承継

【金沢】ホテル運営のホテルマネージメントインターナショナル(東京・中央)は、石川県輪島市にある大型宿泊施設「ホテル高州園」の経営権を3月29日付で取得すると発表した。同ホテルを運営する輪島観光開発(輪島市)から事業を承継する。取得額は非公表。大規模な改装を実施し集客力を高める。同ホテルは132室を持つ奥能登最大級の観光ホテルだが、老朽化が進行。冬のオフシーズンを中心に稼働率が低迷し、引受先を探していた。

### 高州園を承継 全国54軒目に

HMI  
ホテルマネージメントインターナショナル(HMI、比良竜虎社長)は3月29日付で、石川県輪島市の旅館「ホテル高州園」の事業を承継する。同館を運営する輪島観光開発と合意した。HMIは全国に59の旅館・ホテルとフィットネス施設を展開。旅館・ホテルは今回の承継で54軒目となる。

ホテル高州園は昭和43年創業で、客室1,002室、収容650人と、輪島市を代表する大型温泉旅館。客室や露天風呂から望む日本海の大パノラマが高い評価を得ている。HMIは北陸地方では「ホテルウェルネス能登路(石川県宝達志水町)」「ホテル北陸古賀乃井」「同県加賀市片山津温泉」など北



ホテル高州園

(同市山代温泉)の3施設を既に経営している。今回、多くの応募からこれらの実績をみて同社が事業承継先に選ばれたという。  
今後について同社は「能登半島に近い立地を生かして海外からの誘客を図るとともに、海沿いの景観の美しさを生かす工夫を行うなど大規模リニューアルを行い、総合型ファミリーリゾートの機能を備えた地域の迎賓館として、地域経済への貢献に注力する」としている。従業員の継続雇用、地域業者との取引継続も進めるといふ。

## ホテル高州園を承継 東京の運営会社 集客力向上へ改装

発(輪島市)から事業を承継する。取得額は非公表。大規模な改装を実施し集客力を高める。同ホテルは1968年に開業。132室を持つ奥能登最大級の観光ホテルで、日本海に面した客

室や露天風呂を売り物に個人・団体客を幅広く集める。ただ施設の老朽化が進み、冬のオフシーズンを中心に稼働率が低迷。後継者も不在で引受先を探していた。  
HMIは片山津温泉の「ホテル北陸古賀乃井」(石川県加賀市)など北

陸で3軒、全国で59のホテルを運営している。高州園では設備のリニューアルや旅行会社との連携を通じ、訪日観光客の呼び込みを図る。約100人いる従業員の雇用は維持する方向だ。  
輪島市によると、2017年の市内の宿泊者数は前年比18%減の15万5600人で、北陸新幹線の開業前を下回る水準だ。HMIは静岡県で音楽ホールやプールを備えた総合リゾート施設も運営しており、豊富なノウハウを集客に生かす。